

「公共交通を軸としたコンパクトなまちづくり」

日時：10月10日(火) 16:50-18:35 (5限)

場所：国際学術総合研究棟4階

SMBC Academia Hall (対面授業にて開催)

公共政策大学院では、「地域交通政策研究」の授業において、下記のとおり、富山大学客員教授、京都大学非常勤講師(前富山市長) 森 雅志 氏からお話を伺います。

富山市では、まちづくりの理念を「鉄軌道をはじめとする公共交通を活性化させ、その沿線に居住、商業、文化等の都市の諸機能を集積させることにより、公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくり」とし、地域の拠点を「お団子」に公共交通を「串」に見立てた「お団子と串」の都市構造を目指しています。

このことから、公共交通の活性化、その沿線地区への居住推進、さらには中心市街地の活性化に取り組んでいます。LRTの導入については、同市の中核的なプロジェクトであり、特に全国初となる本格的なLRT富山ライトレールの事例についてはリーディングプロジェクトでもあり、本プロジェクトの成功は同市のまちづくりの方向を決定づけたものであります。加えて、2020年3月21日には富山港線と市内電車とが接続し延長約15kmの路面電車ネットワークが完成しました。

本講においては、政策実施に伴う現場の状況を踏まえ、LRTの導入の経緯や政策実施に伴う状況を紹介し、コンパクトなまちづくりやLRT導入について多面的に考察を行います。

※履修登録者以外の本学学生の参加を歓迎いたします
(使用言語：日本語、本学学生以外の一般の方は参加出来ません。)

一問い合わせ：交通・観光政策研究ユニット ttpu@pp.u-tokyo.ac.jp



富山大学客員教授
京都大学非常勤講師
(前富山市長)
森 雅志 氏